

国道401号博士峠工区道路について



現在県では、会津美里町と昭和村を結ぶ国道401号博士峠工区道路の整備を検討しています。この道路が出来ることにより、次のようなことが期待されます。

- ① 県土連携軸交流ネットワーク基盤強化道路として位置付け、県土の骨格となる6本の連携軸の会津軸と南部軸の連携機能を担います。
- ② 冬期間の通行止めを解消し、昭和村から第3次救急医療施設(会津中央病院)へのアクセス向上を図ります。

第2回「国道401号博士峠工区道路環境検討会」を開催しました

【日時】平成26年12月11日(木) 13:30~16:00 【場所】会津若松合同庁舎 1階会議室

本道路は、この地に恵まれてきた豊かな自然を有する地域を通過することから、設計、整備を進めるにあたり、自然環境へ与える影響について十分配慮する必要があると考えております。そのため、動植物などの専門家により技術的な検討を行うことを目的として、会津美里町宮川地内から昭和村小野川地内までの約8kmの区間を対象にした環境検討会を開催しました。



検討会を構成する動物、植物、景観、などを専門とする委員の方々

	所属	氏名	専門分野
座長	一般社団法人東北地域環境計画研究会会長	由井 正敏	鳥類・猛禽類・哺乳類
委員	独立行政法人国立環境研究所主任研究員	上野 隆平	魚類・底生生物
委員	福島県立大沼高等学校教諭	菅原 宏理	両生類・爬虫類
委員	日本大学工学部准教授	知野 泰明	景観等
委員	福島虫の会	角田 伊一	昆虫類
委員	福島県植物研究会	蓮沼 憲二	植物

※ 敬称略、委員については五十音順です。



検討会の結果概要

今回開催した検討会において、委員の方々の意見は以下のとおりでした

■ 議題 1. 国道401号博士峠工区の事業概要について

- 動植物や景観等の調査結果や配慮を踏まえて、今後の道路設計等を実施すること。

■ 議題 2. 委員の意見等への対応について

- トンネル工事等で発生する残土を事業地外で仮置きする場合は、委員による現地確認を行い、外来種等の繁茂等の環境影響を検討すること。
- 福島県内でサンショウウオ類の新種の発見があり、本事業地域に生息するサンショウウオ類についても最新の知見をもって対応すること。

■ 議題 3. 動植物、景観等の環境調査結果について

- 希少猛禽類は今後もモニタリング調査を継続し、生息状況や対策の効果を確認すること。
- 希少な植物は可能な限り移植等の保全対策を行うこと。
- 自然景観に配慮し、道路施設等は樹林等の景観と調和した色彩を基本とすること。

■ 議題 4. 今後の検討会の予定について

- 設計、工事計画等が概ね決定し、環境影響を把握した段階で、次回の検討会を開催する。
- 次回の検討会以前に保全対策等の必要が生じた場合は、個別の委員に意見を伺いながら対策等を実施する。

国道401号博士峠工区道路についてのお問い合わせは・・・

福島県会津若松建設事務所 事業部 道路課

〒965-8501 福島県会津若松市追手町 7-5

TEL.0242-29-5430 FAX.0242-29-5459

E-mail wakamatsu.ken@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41340a/>